



笹小だより

No. 9

平成31年1月7日
横浜市立笹野台小学校

「新しい年のはじまりに」

校長 飯田 雅人

明けましておめでとうございます。平成31年が始まりました。平成という元号が今年4月30日に終わることになると思うと、平成の元号を使う最後の4か月となり、30年余りを振り返ると感慨深いものがあります。「平成」の名前の由来は、「国の内外、天地とも平和が達成される」という意味だそうです。この由来のように、今年もどうか平和な一年でありますようにと願うばかりです。

さて、今年亥年。亥年は十二支の中でも一番最後の年です。十二支を植物の一生と考えると、戌年でたわわに実った果実が種子となり、エネルギーを蓄えて次の世代へと向かう準備をするという意味の年だそうです。最後というと少し寂しいイメージですが、この終わりは、実をつけ、種子を宿す終わりです。つまり次の始まりに向けて新たなエネルギーを蓄える年でもあるのです。

学校では、平成30年度も残り3か月。あっという間に過ぎていきます。この3か月は一年のまとめの時期であると同時に、進級への準備をする時期でもあります。だからこそ、基本的なことがきちんとできているかを、あらためて自分自身でしっかりと見直し、「当たり前前の方が当たり前前になれるようになってほしい」と願っています。では、「当たり前前の方が当たり前前になれる」とはどういうことかということ、昨年の学校説明会でもお話させていただいたように、学校では、

○話をしっかりと聞く習慣が身に付いている。

→自分勝手な子が少ない。

○掃除を一生懸命に取り組む子が多い。

→ものを大切にする子が多い。

○給食をしっかりと食べる子が多い。

→集中力が持続する子が多い。

○友達と声をそろえて一生懸命に歌う子供がたくさんいる。

→表現力と協調性が育っている。

などと考えています。各ご家庭でも、早寝早起き、睡眠や食事をしっかりとるなど基本的な習慣をしっかりと身に付け、その上で、豊かな心を育んだり、様々な知識や力を身に付けたりして、学年のまとめや進級への心の準備をしていってほしいと思います。

本年も本校の合言葉、「元気いっぱい やさしさいっぱい 笑顔いっぱい 心かがやく笹小キッズ」の実現をめざして教職員一同、今一度基本に立ち返って、子供たちの指導にあたっていきます。本校への保護者、地域の皆様のご理解とご協力を今後ともよろしく願いいたします。